

『デンデンムシノ カナシミ』

新美南吉
にいみなんきち

「一匹のでんでん虫がいました。」

ある日、そのでんでん虫は大変なことに気がつきました。

「私わたしは今までうつかりしていたけれど、私の背中の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっているではないか」

この悲しみはどうしたら良いでしょう。

でんでん虫は、お友達のでんでん虫の所にやって来ました。

「私はもう生きていられません」と、そのでんでん虫むしはお友達に言いました。

「何ですか」と、お友達のでんでん虫は聞きました。

「私はなんとこの不幸せな者でしょう。私の背中の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっているのです」と、はじめのでんでん虫が話しました。

すると、お友達のでんでん虫は言いました。

「あなたばかりではありません。私の背中にも悲しみはいっぱいです。」

それじゃ仕方ないと思って、はじめのでんでん虫は別のお友達の所へ行きました。

するとそのお友達も言いました。

「あなたばかりじゃありません。私の背中にも悲しみはいっぱいです」

そこではじめのでんでん虫は、また別のお友達の所へ行きました。

こうして、お友達を順々に訪ねて行きましたが、どの友達も同じことを言うのであり
ました。

とうとうはじめのでんでん虫は気がつきました。

1 回目
分 秒

2 回目
分 秒

3 回目
分 秒